

第 11 章

専門用語辞書（情報処理）

専門用語辞書（情報処理）は、日本語および英語の情報処理分野の専門用語を記述している。本辞書は、複数の辞書およびデータから成り立っている。具体的には、日本語専門用語単語辞書（情報処理）、英語専門用語単語辞書（情報処理）、日英専門用語対訳辞書（情報処理）、英日専門用語対訳辞書（情報処理）、専門用語概念体系辞書（情報処理）、日本語専門用語共起データ（情報処理）、英語専門用語共起データ（情報処理）からなる。

用語の選択は、主としてコンピュータ、情報処理関連を中心に、電気、電子、情報処理応用システムにまたがっている。したがって、狭い意味の情報処理用語には収まり切らない用語も収録している。

電子化辞書における専門用語は、本来基本語と区別することなく同じ枠組みで記述している。したがって上記の個別の専門用語辞書（情報処理）は、それぞれの基本語辞書の記述と本質的には同一である（注：発音、構文木の扱いに違いがある）。同じ形式を採用することにより、辞書の検索や利用を基本語と同じように行うことができる。

===== [専門用語辞書（情報処理）の構造] =====	
<日本語専門用語単語辞書（情報処理）>	: (→11.1節)
<日本語専門用語単語辞書（情報処理）レコード>...	
<英語専門用語単語辞書（情報処理）>	: (→11.2節)
<英語専門用語単語辞書（情報処理）レコード>...	
<日英専門用語対訳辞書（情報処理）>	: (→11.3節)
<日英専門用語対訳辞書（情報処理）レコード>...	
<英日専門用語対訳辞書（情報処理）>	: (→11.4節)
<英日専門用語対訳辞書（情報処理）レコード>...	
<専門用語概念辞書（情報処理）>	: (→11.5節)
<専門用語概念見出し辞書（情報処理）>	
<専門用語概念見出し辞書（情報処理）レコード>...	
<専門用語概念体系辞書（情報処理）>	
<専門用語概念体系辞書（情報処理）レコード>...	
<日本語専門用語共起データ（情報処理）>	: (→11.6節)
<日本語専門用語共起データ（情報処理）レコード>...	
<英語専門用語共起データ（情報処理）>	: (→11.7節)
<英語専門用語共起データ（情報処理）レコード>...	

11.1 日本語専門用語単語辞書（情報処理）

第2章と同様に、日本語専門用語単語辞書（情報処理）のレコードは、レコード番号と、見出し情報、文法情報、意味情報、運用・その他情報、よび管理情報から構成される。日本語専門用語単語辞書（情報処理）の基本的な役割は、情報処理分野の日本語単語と概念の対応関係を記述し、この対応関係が成り立つときの文法的特性を与えることである。

===== [日本語専門用語単語辞書（情報処理）レコードの構造] =====

<レコード番号>	:レコードタイプと識別番号
<見出し情報>	: (→11.1.1節)
<単語見出し>	
<漢字見出し>	
<かな見出し>	
<不変化部-接続属性対>	: 構成語の不変化部とその接続属性の対の列
<発音>	: 不変化部のカタカナ表記による発音とアクセント
<文法情報>	: (→11.1.2節)
<品詞>	: 品詞
<構文木>	
<活用情報>	
<活用形情報>	: 活用形(不規則活用語のみ)
<活用型情報>	: 活用型(規則活用語のみ)
<表層格情報>	: 表層格(用言, 述語句のみ)
<相情報>	: 相情報(動詞のみ)
<機能語情報>	: 機能語情報(機能語のみ)
<意味情報>	: (→11.1.3節)
<概念識別子>	: 概念の同一性を示す番号
<概念見出し>	: 概念を代表する単語見出し(内容語のみ)
<日本語概念見出し>	: 概念を代表する日本語単語見出し
<英語概念見出し>	: 概念を代表する英語単語見出し
<概念説明>	: 概念の文章による説明(内容語のみ)
<日本語概念説明>	: 概念の日本語による説明
<英語概念説明>	: 概念の英語による説明
<運用・その他情報>	
<用法>	: 語の用法
<頻度>	: 出現頻度
<管理情報>	: (→11.1.4節)
<管理履歴レコード>	: 更新日付等の管理情報

===== [日本語専門用語単語辞書 (情報処理) レコードの例(1)] =====

<レコード番号>
 <見出し情報>
 <単語見出し>
 <漢字見出し> メモリ
 <かな見出し> メモリ
 <不変化部-接続属性対> メモリ (普通名詞, 普通名詞)
 <発音> メ' モリー
 <文法情報>
 <品詞> 普通名詞
 <構文木>
 <活用情報>
 <活用形情報>
 <活用型情報>
 <表層格情報>
 <相情報>
 <機能語情報>
 <意味情報>
 <概念識別子> 1f0a30
 <概念見出し>
 <日本語概念見出し> メモリ [メモリ]
 <英語概念見出し>
 <概念説明>
 <日本語概念説明> 計算機などの記憶装置
 <英語概念説明> memorizing equipment like a calculator
 <運用・その他情報>
 <用法> TECH
 <頻度> 00000002
 <管理情報>
 <管理履歴レコード>

===== [日本語専門用語単語辞書 (情報処理) レコードの例(2)] =====

<レコード番号>
 <見出し情報>
 <単語見出し>
 <漢字見出し> 磁気テープ
 <かな見出し> ジキテープ
 <不変化部-接続属性対> 磁気テープ (普通名詞, 普通名詞)
 <発音> ジキテ' ープ
 <文法情報>
 <品詞> 普通名詞
 <構文木>
 <活用情報>
 <活用形情報>
 <活用型情報>
 <表層格情報>

〈相情報〉	
〈機能語情報〉	
〈意味情報〉	
〈概念識別子〉	3bda69
〈概念見出し〉	
〈日本語概念見出し〉	磁気テープ[ジキテープ]
〈英語概念見出し〉	magnetic tape
〈概念説明〉	
〈日本語概念説明〉	データを記憶できる磁性層をもつテープ
〈英語概念説明〉	a tape that has a magnetic layer that can store data
〈運用・その他情報〉	
〈用法〉	TECH
〈頻度〉	0000002f
〈管理情報〉	
〈管理履歴レコード〉	

11.1.1 見出し情報

見出し情報は、単語見出し・不変化部-接続属性対・かな表記・発音からなっている。見出しとしては、情報処理分野の日本語単語や固有名詞、略語、および熟語や成句などが収録される。

11.1.2 文法情報

文法情報は、品詞・構文木・活用情報・表層格情報・相情報・機能語情報からなっている。これらの情報は、文の構文的な構造を見つけだすための構文解析や、ある意味を文章で表現するときはどういった構造の文を作るのかを決めるための構文生成で使用される。

11.1.3 意味情報

意味情報は、概念識別子・概念見出し・概念説明からなる。これは概念辞書の基本構成要素である概念に関する情報である。

11.1.4 管理情報

日本語専門用語単語辞書（情報処理）の管理情報として「管理履歴レコード」という項目を持つ。本項目には更新日付、作業レベルなど任意のコメントを記述する。

11.2 英語専門用語単語辞書（情報処理）

第3章と同様に、英語専門用語単語辞書（情報処理）のレコードは、レコード番号と、見出し情報、文法情報、意味情報、運用・その他情報、および管理情報から構成される。英語専門用語単語辞書（情報処理）の基本的な役割は、情報処理分野の英語単語と概念の対応関係を記述し、この対応関係が成り立つときの文法的特性を与えることである。

===== [英語専門用語単語辞書（情報処理）レコードの構造] =====

<レコード番号>	:レコードタイプと識別番号
<見出し情報>	:(→11.2.1節)
<単語見出し>	:規則変化語は原形語尾つき
<不変化部-連接属性対>	:構成語の不変化部とその連接属性の対の列
<音節区切り>	:音節の区切りに'/'を挿入した文字列
<発音>	
<文法情報>	:(→11.2.2節)
<品詞>	:品詞
<構文木>	
<語形・語形変化情報>	
<語形情報>	:語形
<語形変化情報>	:語形変化パターン
<文法属性>	:(動詞・形容詞・限定詞・副詞・名詞のみ)
<文型情報>	:(動詞・形容詞・名詞のみ)
<機能・位置>	:(名詞・形容詞・限定詞・副詞のみ)
<機能語情報>	:機能語情報(機能語のみ)
<意味情報>	:(→11.2.3節)
<概念識別子>	:概念の同一性を示す番号
<概念見出し>	:概念を代表する単語見出し(内容語のみ)
<日本語概念見出し>	:概念を代表する日本語単語見出し
<英語概念見出し>	:概念を代表する英語単語見出し
<概念説明>	:概念の文章による説明(内容語のみ)
<日本語概念説明>	:概念の日本語による説明
<英語概念説明>	:概念の英語による説明
<運用・その他情報>	
<用法>	:語の用法
<頻度>	:出現頻度
<管理情報>	:(→11.2.4節)
<管理履歴レコード>	:更新日付等の管理情報

===== [英語専門用語単語辞書 (情報処理) レコードの例(1)] =====

<レコード番号>

<見出し情報>

<単語見出し> j o b
 <不変化部-接続属性対> j o b (語頭子音名詞, 名詞単数形)
 <音節区切り> job
 <発音>

<文法情報>

<品詞> 普通名詞
 <構文木>
 <語形・語形変化情報>
 <語形情報>
 <語形変化情報>

<文法属性>
 <文型情報>
 <機能・位置>
 <機能語情報>

<意味情報>

<概念識別子> 3c8989
 <概念見出し>
 <日本語概念見出し> ジョブ [ジョブ]
 <英語概念見出し> job
 <概念説明>
 <日本語概念説明> 利用者によって定義され, 計算機によって実
 施される仕事の単位
 <英語概念説明> a collection of specified tasks
 constituting a unit of work for a
 computer

<運用・その他情報>

<用法> TECH
 <頻度> 000000a0

<管理情報>

<管理履歴レコード>

===== [英語専門用語単語辞書 (情報処理) レコードの例(2)] =====

<レコード番号>

<見出し情報>

<単語見出し> k e y w o r d
 <不変化部-接続属性対> k e y w o r d (語頭子音名詞, 名詞不変化部
 分 (後接s))
 <音節区切り> key/word
 <発音>

<文法情報>

<品詞> 普通名詞
 <構文木>
 <語形・語形変化情報>

<語形情報>	
<語形変化情報>	
<文法属性>	
<文型情報>	
<機能・位置>	
<機能語情報>	
<意味情報>	
<概念識別子>	3c785f
<概念見出し>	
<日本語概念見出し>	キーワード[キーワード]
<英語概念見出し>	keyword
<概念説明>	
<日本語概念説明>	プログラミング言語文における素元
<英語概念説明>	in computing, a primary element in a programming language statement
<運用・その他情報>	
<用法>	TECH
<頻度>	00000000
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	

11.2.1 見出し情報

見出し情報は、単語見出し・不変化部-接続属性対・音節区切り・発音からなっている。見出しとしては、情報処理分野の英語単語や固有名詞、略語、および複合語などが収録される。英語専門用語辞書では、発音情報は記述されていなく、また複合語の登録は単一語扱いである。

11.2.2 文法情報

文法情報は、品詞・構文木・語形・語形変化情報・文法属性・文型情報・機能・位置からなっている。ただし、専門用語については、複合語も単一語扱いで登録されるため、構文木の情報は与えられない。これらの情報は、文の構文的な構造を見つけだすための構文解析や、ある意味を文章で表現するときにおいてどのような構造の文を作るのかを決めるための構文生成で使用される。

11.2.3 意味情報

意味情報は、概念識別子・概念見出し・概念説明からなる。これは概念辞書の基本構成要素である概念に関する情報である。

11.2.4 管理情報

英語専門用語単語辞書（情報処理）では、管理情報として「管理履歴レコード」という項目を持つ。本項目には更新日付、作業レベルなど任意のコメントを記述する。

11.3 日英専門用語対訳辞書（情報処理）

第5章と同様に、日英専門用語対訳辞書（情報処理）のレコードは、レコード番号、見出し情報、文法情報、意味情報、対訳情報、管理情報から構成される。日英専門用語対訳辞書（情報処理）の基本的な役割は、情報処理分野の日本語単語見出しと概念の対応関係を記述し、この対応関係が成り立つ時の英語の対訳を与えることである。

===== [日英専門用語対訳辞書（情報処理）レコードの構造] =====

<レコード番号>	:レコードタイプと識別番号
<見出し情報>	: (→11.3.1節)
<単語見出し>	
<文法情報>	: (→11.3.2節)
<品詞>	
<意味情報>	: (→11.3.3節)
<概念識別子>	:概念の同一性を示す番号
<概念見出し>	:概念を代表する単語見出し
<日本語概念見出し>	:概念を代表する日本語単語見出し
<英語概念見出し>	:概念を代表する英語単語見出し
<概念説明>	:概念の文章による説明
<対訳情報>	: (→11.3.4節)
<訳語情報>	:訳語の表記と文法的、意味的情報
<訳語種別>	:訳語の種類（専門用語対訳辞書では意味なし）
<訳語表記>	:訳語の表記
<訳語品詞>	:訳語の品詞
<管理情報>	: (→11.3.5節)
<管理履歴レコード>	:更新日付等の管理情報

===== [日英専門用語対訳辞書（情報処理）レコードの例(1)] =====

<レコード番号>	
<見出し情報>	
<単語見出し>	
<漢字見出し>	エコーイック・メモリー
<かな見出し>	エコーイック・メモリー
<文法情報>	
<品詞>	普通名詞
<意味情報>	
<概念識別子>	3ccfb1
<概念見出し>	
<日本語概念見出し>	エコーイックメモリ [エコーイックメモリ]
<英語概念見出し>	echoic memory
<概念説明>	エコーイックメモリというメモリ
<対訳情報>	
<訳語情報>	
<訳語種別>	0
<訳語表記>	echoic memory

<訳語品詞>	名詞及び名詞句、名詞節
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	
=====	
=====[日英専門用語対訳辞書（情報処理）レコードの例(2)]=====	
<レコード番号>	
<見出し情報>	
<単語見出し>	
<漢字見出し>	エコーキャンセラー伝送方式
<かな見出し>	エコーキャンセラーデンソウホウシキ
<文法情報>	
<品詞>	普通名詞
<意味情報>	
<概念識別子>	3ccfb4
<概念見出し>	
<日本語概念見出し>	エコーキャンセラー伝送方式[エコーキャンセラーデンソウホウシキ]
<英語概念見出し>	echo canceller transmission system
<概念説明>	エコーキャンセラ伝送方式という方式
<対訳情報>	
<訳語情報>	
<訳語種別>	0
<訳語表記>	echo canceller transmission system
<訳語品詞>	名詞及び名詞句、名詞節
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	
=====	

11.3.1 見出し情報

見出し情報は、日本語単語見出しからなっている。見出しとしては、情報処理分野の日本語単語や固有名詞、略語などが収録される。

11.3.2 文法情報

文法情報は、品詞のみからなっている。日本語単語辞書の文法情報における「構文木、活用情報、表層格情報、相情報、機能語情報」については含んでいない。

11.3.3 意味情報

意味情報は、概念識別子・概念見出し・概念説明からなる。これは概念辞書の基本構成要素である概念に関する情報である。

11.3.4 対訳情報

日英専門用語対訳辞書（情報処理）の見出しは情報処理関係の日本語専門語であるが、訳語は必ずしも情報処理関係の英語専門語である保証はない。基本語も含んでいる。これは日本語、英語におけ

る専門語の捉え方の違いでもある。

11.3.5 管理情報

日英専門用語対訳辞書（情報処理）では、管理情報として「管理履歴レコード」という項目を持つ。本項目には更新日付、作業レベルなど任意のコメントを記述する。

11.4 英日専門用語対訳辞書（情報処理）

第6章と同様に、英日専門用語対訳辞書（情報処理）のレコードは、レコード番号、見出し情報、文法情報、意味情報、対訳情報、管理情報から構成される。英日専門用語対訳辞書（情報処理）の基本的な役割は、情報処理分野の英単語と概念の対応関係を記述し、この対応関係が成り立つ時の日本語の対訳を与えることである。

===== [英日専門用語対訳辞書（情報処理）レコードの構造] =====

<レコード番号>	:レコードタイプと識別番号
<見出し情報>	:(→11.4.1節)
<単語見出し>	:活用語はその終止形
<文法情報>	:(→11.4.2節)
<品詞>	:品詞
<意味情報>	:(→11.4.3節)
<概念識別子>	:概念の同一性を示す番号
<概念見出し>	:概念を代表する単語見出し（内容語のみ）
<英語概念見出し>	:概念を代表する英語単語見出し
<日本語概念見出し>	:概念を代表する日本語単語見出し
<概念説明>	:概念の文章による説明
<英語概念説明>	:概念の英語による説明
<日本語概念説明>	:概念の日本語による説明
<対訳情報>	:(→11.4.4節)
<訳語情報>	
<訳語種別>	:訳語の種類（専門用語対訳辞書では意味なし）
<訳語表記>	:英語の見出し語に対する日本語の訳語
<管理情報>	:(→11.4.5節)
<管理履歴レコード>	:更新日付等の管理情報

===== [英日専門用語対訳辞書（情報処理）レコードの例(1)] =====

<レコード番号>	
<見出し情報>	
<単語見出し>	single-address code
<文法情報>	
<品詞>	普通名詞
<意味情報>	
<概念識別子>	3c7331
<概念見出し>	
<英語概念見出し>	single address instruction
<日本語概念見出し>	1アドレス命令[1アドレスメイレイ]
<概念説明>	
<英語概念説明>	an instruction that has one address part
<日本語概念説明>	1個のアドレス部をもつ命令
<対訳情報>	
<訳語情報>	
<訳語種別>	

〈訳語表記〉	1アドレスコード
〈管理情報〉	
〈管理履歴レコード〉	更新日付等の管理情報

===== [英日専門用語対訳辞書（情報処理）レコードの例(2)] =====

〈レコード番号〉	
〈見出し情報〉	
〈単語見出し〉	non-return-to-zero inverted recording
〈文法情報〉	
〈品詞〉	普通名詞
〈意味情報〉	
〈概念識別子〉	2dc813
〈概念見出し〉	
〈英語概念見出し〉	non-return-to-zero-inverted recording
〈日本語概念見出し〉	NRZI記録方式[NRZIキログハウシキ]
〈概念説明〉	
〈英語概念説明〉	non-return-to-zero-inverted recording
〈日本語概念説明〉	NRZI記録方式
〈対訳情報〉	
〈訳語情報〉	
〈訳語種別〉	0
〈訳語表記〉	NRZI
〈訳語情報〉	
〈訳語種別〉	0
〈訳語表記〉	NRZI記録方式
〈管理情報〉	
〈管理履歴レコード〉	

11.4.1 見出し情報

見出し情報は、情報処理関係の英語専門語見出しからなっている。見出しとしては、情報処理分野の英語専門語や固有名詞、略語などが収録される。

11.4.2 文法情報

文法情報は、品詞のみからなっている。英語単語辞書の文法情報における「構文木、語形情報、文法属性、機能語情報」については含んでいない。

11.4.3 意味情報

意味情報は、概念識別子・概念見出し・概念説明からなる。これは概念辞書の基本構成要素である概念に関する情報である。

11.4.4 対訳情報

情報処理英日対訳辞書の見出しは情報処理関係の日本語専門語であるが、訳語は必ずしも情報処理

関係の英語専門語である保証はない。基本語も含んでいる。これは日本語、英語における専門用語の捉え方の違いでもある。

11.4.5 管理情報

情報処理関係英日対訳辞書では、管理情報として「管理履歴レコード」という項目を持つ。本項目には更新日付、作業レベルなど任意のコメントを記述する。

11.5 専門用語概念辞書（情報処理）

専門用語概念辞書（情報処理）は専門用語単語辞書（情報処理）、専門用語対訳辞書（情報処理）、専門用語共起データ（情報処理）の各辞書から参照される概念を規定するための辞書である。各専門用語概念を言葉で説明する専門用語概念見出し辞書（情報処理）、また、概念間の上位下位関係を規定する専門用語概念体系辞書（情報処理）からなる。13段である。

11.5.1 専門用語概念見出し辞書（情報処理）

専門用語概念見出し辞書（情報処理）は概念見出しレコードの集合である。概念見出し集合はレコード番号、概念識別子、概念見出し、概念説明、および管理情報からなる。各フィールドの構成および内容は次のとおりである。

===== [専門用語概念見出し辞書（情報処理）レコードの構造] =====

<レコード番号>	:レコードタイプと識別番号
<概念識別子>	:概念の同一性を示す番号
<概念見出し>	:概念を代表する単語見出し（内容語のみ）
<英語概念見出し>	:概念を代表する英語単語見出し
<日本語概念見出し>	:概念を代表する日本語単語見出し
<概念説明>	:概念の文章による説明
<英語概念説明>	:概念の英語による説明
<日本語概念説明>	:概念の日本語による説明
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	:更新日付等の管理情報

===== [専門用語概念見出し辞書（情報処理）レコードの例(1)] =====

<レコード番号>	
<概念識別子>	2dc843
<概念見出し>	
<英語概念見出し>	
<日本語概念見出し>	SVC割り込み[SVCワリコミ]
<概念説明>	
<英語概念説明>	SVC interruption
<日本語概念説明>	SVC割り込み
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	DATE="95/3/16"

===== [専門用語概念見出し辞書（情報処理）レコードの例(2)] =====

<レコード番号>	
<概念識別子>	2e3821
<概念見出し>	
<英語概念見出し>	
<日本語概念見出し>	右寄せする[ミギヨセ・スル]
<概念説明>	

<英語概念説明>	right-justify
<日本語概念説明>	レジスタの内容を右寄せする
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	DATE="95/3/16"

11.5.2 専門用語概念体系辞書（情報処理）

専門用語概念体系辞書（情報処理）は情報処理用語の概念を上位下位に分類したものである。分類は大きく物、属性、事象に分けている。中間ノードは約8000個ある。最大の深さは13段である。

===== [専門用語概念体系辞書（情報処理）レコードの構造] =====	
<レコード番号>	:レコードタイプと識別番号
<上位概念>	
<下位概念識別子>	:概念の同一性を示す番号
<下位概念>	
<上位概念識別子>	:概念の同一性を示す番号
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	:更新日付等の管理情報
=====	

11.5.2.1 専門用語概念体系辞書（情報処理）：物、属性部分

物、属性は、基本語の概念体系と類似の分類を採用している。情報処理分野の物概念とは、基本語の情報処理に関する用語が量的には増大し、質的には厳密化したものである。よって、体系化するための基本的な枠組としては、基本語の物の概念の体系を踏襲し、関係する下位の概念を細かく分類した。例えば、基本語で言う「部品」や「材料」というクラスは、「計算機の部品」や「記憶装置の材料」というように細分した。

===== [専門用語概念体系辞書（情報処理）：物、属性概念の上位部分] =====	
2f2651:	[情報処理関係の「もの」]
2f2652:	[情報処理関係の「もの」全般]
2f2653:	[物]
2f2658:	[計算機システム]
2f2659:	[計算機]
2f26b0:	[システム]
2f2738:	[情報]
2f2739:	[情報全般]
2f273e:	[内容から捉えたデータ]
2f274d:	[構造・機能から捉えたデータ]
2f2e71:	[信号]
2f278a:	[計算機構成物]
2f278b:	[計算機構成物全般]
2f2793:	[S/W]
2f2845:	[H/W]
2f2a0e:	[情報処理関係の材料]
2f2a0f:	[情報処理関係の材料全般]
2f2a16:	[計算機の材料]

- 2f2a17: [情報処理関係の物質]
- 2f2a2a: [情報処理関係の有意志体]
 - 2f2a2b: [情報処理関係の人]
 - 2f2a4a: [情報処理関係の組織]
- 2f2a71: [情報処理関係の場所]
 - 2f2a72: [情報処理関係の場所全般]
 - 2f2a9d: [情報処理関係の地域]
 - 2f2a9e: [情報処理関係の空間・場]
 - 2f2aa9: [情報処理関係の建造物・部屋]
 - 2f2ab0: [情報処理関係の抽象物の場所・位置]
 - 2f2ab2: [電気信号の場所]
 - 2f2ab5: [情報処理関係の路]
 - 2f2abb: [情報処理関係の形状で表現した場所]
 - 2f2abd: [情報処理関係の場所的部分]
 - 2f2abf: [計算機構成物の場所的部分]
- 2f2b19: [情報処理関係の生命体]
 - 2f2b1a: [情報処理関係の生命物質]
 - 2f2b1d: [情報処理関係の生命体の部分・要素]
 - 2f2b1f: [情報処理関係の生物器官]
- 2f2b31: [情報処理関係の生産物・道具]
 - 2f2b32: [情報処理関係の具体的生産物]
 - 2f2cd6: [知的活動の抽象的道具]
- 2f2d03: [情報処理関係の抽象物]
 - 2f2d04: [情報処理関係の抽象物全般]
 - 2f2d16: [言語に内在しているもの]
 - 2f2d2d: [集合論的概念]
 - 2f2d33: [人間の能力・性格]
 - 2f2d34: [環境]
 - 2f2d37: [心理・思考]
 - 2f2d38: [対象]
 - 2f2d57: [集合的観点からみた対象]
 - 2f2d59: [意味]
 - 2f2d5a: [思考物]
 - 2f2d77: [利害評価属性]
 - 2f2d79: [変数・記号の属性]
- 2f2d7a: [機能体]
 - 2f2d7b: [計算機処理の機能体]
 - 2f2e12: [能力・エネルギー]
- 2f2e58: [現象物]
 - 2f2e59: [現象物全般]
 - 2f2e5f: [社会現象物]
 - 2f2e61: [生理現象物]
 - 2f2e63: [視覚できる現象物]
 - 2f2e64: [現象結果物]
 - 2f2e67: [人為的現象物]
 - 2f2e6a: [自然現象物]
 - 2f2e8e: [電気回路現象]
 - 2f2e93: [H/W現象]

- 2f2e96: [S/W現象]
- 2f2e99: [抽象的現象]
- 2f2e9b: [学問・思考]
- 2f2e9c: [考え・思想]
- 2f2eb3: [学問]
- 2f2ec8: [法則・規則]
- 2f2ec9: [法則]
- 2f2efb: [計画]
- 2f2efd: [基準・規格]
- 2f2f05: [制度]
- 2f2f0b: [方法・技法]
- 2f2f0c: [方法・技法全般]
- 2f30cc: [システムの方法・技法]
- 2f3292: [情報処理関係の属性・属性値・単位]
- 2f3293: [情報処理関係の属性]
- 2f3294: [情報処理関係の属性全般]
- 2f3363: [計算機システムの属性]
- 2f338f: [情報の属性]
- 2f339f: [計算機構成物の属性]
- 2f33a4: [人・組織の属性]
- 2f33a6: [場所の属性]
- 2f33af: [時間の属性]
- 2f33b1: [生産物の属性]
- 2f33d1: [抽象物の属性]
- 2f33ef: [機能体の属性]
- 2f33f9: [法則・規則の属性]
- 2f33fb: [計算機処理・現象に関する属性]
- 2f3408: [情報処理関係の属性値]
- 2f3409: [情報処理関係の属性値全般]
- 2f34a4: [計算機システムの属性値]
- 2f34aa: [情報の属性値]
- 2f34b8: [計算機構成物の属性値]
- 2f34cb: [材料の属性値]
- 2f34ce: [人・組織の属性値]
- 2f34d2: [生命体の属性値]
- 2f34d3: [生産物の属性値]
- 2f34da: [抽象物の属性値]
- 2f34e1: [機能体の属性値]
- 2f34ea: [計算機処理・現象の属性値]
- 2f34ff: [情報処理関係の単位]
- 2f3500: [情報処理関係の単位全般]
- 2f3504: [数の単位]
- 2f3506: [現象及び現象物の単位]
- 2f3507: [長さ単位]
- 2f3509: [時間単位]
- 2f350c: [具体物の量単位]
- 2f350d: [計算機に関する属性を表わす単位]
- 2f3513: [情報処理関係の様態]

- 2f3514: [情報処理関係の様態全般]
- 2f351b: [機械・装置の動作の様態・方式]
- 2f3521: [計算機利用の様態・方式]
- 2f3522: [計算機の配置の様態]
- 2f3523: [推論・思考の様態・モード]

11.5.2.2 専門用語概念体系辞書（情報処理）：事象部分

事象概念は、概念を弁別する観点にたつて上位の弁別から下位の弁別は、効果的な弁別になるように配置した。体系の事象部分は動作、状態などの動詞性単語の概念からなる。動作性概念に対して、人間の内省により [ハードウェア操作] [情報処理] [システム操作] の3つの項目を作成した。分類項目の設定は類似概念のグループ化と考える場合、概念の類似性を計る基準を明確にする必要がある。EDR 専門用語概念体系の事象部分は弁別ネットワークの考え方にに基づき、EDR 概念関係子を用いて、専門用語事象概念の弁別ネットワークを構築した。〈概念関係子／名詞〉の形式をとる弁別ネットワークのアーキをもとに事象体系の項目を作成した。事象体系の各項目の弁別に関わる概念関係子の優先順位は、その項目にとって最も重要と考える概念関係子を優先した。例えば、項目「ハードウェア動作」に対しては、動作の起こる「場所」を最優先の弁別基準と考えて、概念関係子 place を優先した。それと同様に、項目「記憶装置における操作」に対しては、概念関係子 object を優先した。

===== [専門用語概念体系辞書（情報処理）：事象概念の上位部分] =====

- 2f30dd: [情報処理関係の「こと」]
- 2f30de: [情報処理関係の「動作・行為」]
- 2f3138: [ハードウェア操作]
- 2f313b: [記憶装置上の操作]
- 2f313c: [記憶装置に対する操作]
- 2f313f: [記憶装置上の情報に対する操作]
- 2f3145: [記憶装置上のファイルに対する操作]
- 2f3149: [磁気ディスク装置上の操作]
- 2f314a: [磁気ディスクに対する操作]
- 2f314e: [磁気ディスク上のトラックに対する操作]
- 2f314f: [磁気ディスク上の磁気ヘッドに対する操作]
- 2f3150: [磁気テープ装置上の操作]
- 2f3151: [磁気テープに対する操作]
- 2f3152: [カード装置上の操作]
- 2f3153: [カードに対する操作]
- 2f3154: [印刷装置上の操作]
- 2f3157: [印刷装置上のテキストに対する操作]
- 2f3159: [印刷装置上の用紙に対する操作]
- 2f315a: [印刷装置上の印字位置に対する操作]
- 2f315b: [表示装置上の操作]
- 2f315c: [表示装置上の文字列に対する操作]
- 2f3167: [表示装置上のマウスに対する操作]
- 2f3168: [表示装置上のウインドウ画面に対する操作]
- 2f3169: [表示装置上の表示位置に対する操作]
- 2f316a: [装置の部分・部品上の操作]
- 2f316c: [電子回路上の操作]

- 2f316d: [半導体部品・装置に対する操作]
- 2f30fa: [濃淡調整]
- 2f3170: [情報処理]
 - 2f3171: [情報に対する操作]
 - 2f313f: [記憶装置上の情報に対する操作]
 - 2f317d: [回復]
 - 2f3189: [記憶装置からの情報に対する操作]
 - 2f318a: [記憶装置への情報に対する操作]
 - 2f318b: [テキストからの情報に対する操作]
 - 2f318c: [テキストへの情報に対する操作]
 - 2f318d: [テキスト上の情報に対する操作]
 - 2f318f: [集合体上の情報に対する操作]
 - 2f3192: [2進ビットへの情報に対する操作]
 - 2f3193: [スタック上の情報に対する操作]
 - 2f3196: [ファイルに対する操作]
 - 2f3197: [テキストに対する操作]
 - 2f31a5: [プログラムに対する操作]
 - 2f31ac: [プログラム言語を用いたプログラムに対する操作]
 - 2f31ae: [機械語へのプログラムに対する操作]
 - 2f31b0: [アドレス空間へのプログラムに対する操作]
 - 2f31b4: [アドレス空間からのプログラムに対する操作]
 - 2f31b5: [プログラミング操作]
 - 2f31b6: [変数に対するプログラミング操作]
 - 2f31bb: [サブルーチンに対するプログラミング操作]
 - 2f31bd: [サブルーチンへのプログラミング操作]
 - 2f31c0: [入出力装置に対するプログラミング操作]
 - 2f31ca: [ループに対するプログラミング操作]
 - 2f31cb: [アドレスに対するプログラミング操作]
 - 2f31cc: [ジョブに対するプログラミング操作]
 - 2f31cd: [ジョブへのプログラミング操作]
 - 2f31ce: [人工知能に対する操作]
- 2f31da: [システム操作]
 - 2f31db: [計算機システムに対する操作]
 - 2f3216: [計算機システムを用いた動作・活動]
 - 2f324c: [人・組織が行うシステム操作]
 - 2f324f: [通信システム上の操作]
 - 2f3250: [リカバリ]
 - 2f3252: [通信装置に対する操作]
 - 2f3258: [通信システム上の情報に対する操作]
 - 2f327b: [通信システム上の信号に対する操作]
- 2f30e2: [情報処理関係のその他の（動作・行為）]
- 2f327c: [情報処理関係の「事象」]
 - 2f327e: [情報処理関係の「現象」]
 - 2f3280: [誘導減衰]
 - 2f316b: [電源切断]
 - 2f327f: [フォノン散乱]
 - 2f3284: [レイリーフェージング]
 - 2f3282: [保持停止]

- 2f3283: [同時停止]
 - 2f3285: [情報処理関係の「状態」]
 - 2f3286: [計算機システムの状態]
 - 2f3287: [装置・構成物の状態]
 - 2f3288: [データの数学・論理状態]
 - 2f3289: [プログラムの状態]
 - 2f328a: [情報処理関係の「機能」]
 - 2f328b: [計算機システムの機能]
 - 2f3139: [スイッチング動作]
 - 2f3290: [装置の機能]
-

11.6 日本語専門用語共起データ（情報処理）

日本語専門用語共起データ（情報処理）は、主として、日本語情報処理用語の間の共起関係を記述している。

===== [日本語専門用語共起データ（情報処理）レコードの構造] =====

<レコード番号>	:レコードタイプと識別番号
<名詞性単語>	:(→11.6.1節)
<単語見出し>	:原形語尾つき
<意味情報>	
<概念識別子>	:概念の同一性を示す番号
<概念見出し>	:概念を代表する単語見出し（内容語のみ）
<英語概念見出し>	:概念を代表する英語単語見出し
<日本語概念見出し>	:概念を代表する日本語単語見出し
<概念説明>	:概念の文章による説明
<英語概念説明>	:概念の英語による説明
<日本語概念説明>	:概念の日本語による説明
<表層格>	:(→11.6.3節)
<文字列>	
<動詞性単語>	:(→11.6.2節)
<単語見出し>	:原形語尾つき
<意味情報>	
<概念識別子>	:概念の同一性を示す番号
<概念見出し>	:概念を代表する単語見出し（内容語のみ）
<英語概念見出し>	:概念を代表する英語単語見出し
<日本語概念見出し>	:概念を代表する日本語単語見出し
<概念説明>	:概念の文章による説明
<英語概念説明>	:概念の英語による説明
<日本語概念説明>	:概念の日本語による説明
<深層格>	:(→11.6.4節)
<文字列>	
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	:更新日付等の管理情報

===== [日本語専門用語共起データ（情報処理）レコードの例(1)] =====

<レコード番号>	
<名詞性単語>	
<単語見出し>	2進数
<意味情報>	
<概念識別子>	3c8859
<概念見出し>	
<英語概念見出し>	binary number
<日本語概念見出し>	二進数[2 シンスウ]
<概念説明>	
<英語概念説明>	numbers which are used in the binary

numeration system
 <日本語概念説明> 2進記数法を表わすのに使われる数字

<表層格>
 <文字列> を

<動詞性単語>
 <単語見出し> 出力する
 <意味情報>
 <概念識別子> 3c9fae
 <概念見出し>
 <英語概念見出し> output
 <日本語概念見出し> 出力する[シュツリョク・スル]

<概念説明>
 <英語概念説明> to output data
 <日本語概念説明> プリンタに出力する

<深層格>
 <文字列> object

<管理情報>
 <管理履歴レコード>

===== [日本語専門用語共起データ（情報処理）レコードの例(2)] =====

<レコード番号>

<名詞性単語>
 <単語見出し> ジョブキュー
 <意味情報>
 <概念識別子> 3c801d
 <概念見出し>
 <英語概念見出し> job queue
 <日本語概念見出し> ジョブ待ち行列[ジョブマチギョウレツ]

<概念説明>
 <英語概念説明> in computing, input queue, hold queue
 and output queue
 <日本語概念説明> 入力待ち及びホールド待ち及び出力
 待ちの状態にある行列

<表層格>
 <文字列> を

<動詞性単語>
 <単語見出し> 保持する
 <意味情報>
 <概念識別子> 3bc7cc
 <概念見出し>
 <英語概念見出し> holding
 <日本語概念見出し> 保持[ホジ]

<概念説明>
 <英語概念説明> the act of keeping something as it is
 <日本語概念説明> そのままの状態で持ち続けること

<深層格>
 <文字列> object

<管理情報>

<管理履歴レコード>

11.6.1 名詞性単語

名詞、代名詞などの名詞性の単語見出しおよび意味情報からなる。

単語見出しが日本語専門用語単語辞書（情報処理）に登録されていない場合、意味情報部分はNULLで表す。

11.6.2 動詞性単語

動詞、形容詞、形容動詞などの述語性単語の単語見出しおよび意味情報からなる。

単語見出しが日本語専門用語単語辞書（情報処理）に登録されていない場合、意味情報部分はNULLで表す。

11.6.3 表層格

動詞性単語と名詞性単語に関係する助詞を用いてレコードの表層格を記述する。

11.6.4 深層格

概念関係詞を次に示す。なお、例には、動詞と名詞の共起関係以外のものについても示してある。

agent 有意志動作を引き起こす主体。有意志者、自動物が主体になる。計算機やプロセスなどは自動物とみなす。

例文： ユーザが計算機に

共起データ： ユーザ が 入力する agent

object 動作・変化の影響を受ける対象

例文： システムを開発する

共起データ： システム を 開発する object

beneficiary 動作・行為の受益者・被害者（物）

例文： ユーザのために開発する

共起データ： ユーザ のために 開発する beneficiary

a-object 属性をもつ対象

例文： ロバストなシステム

共起データ： システム + ロバスト a-object

manner 動作・変化のやり方

例文： 高速に通信する

共起データ： 高速 に 通信する manner

implement 動作における道具・手段

	例文: ESPで開発する				
	共起データ: ESP	で	開発する	implement	
material	材料または構成要素				
	例文: RISCチップで開発する				
	共起データ: RISCチップ	で	開発する	material	
time	事象の起こる時間				
	例文: 8時に立ち上げる				
	共起データ: 8時	に	立ち上げる	time	
time-from	事象の始まる時間				
	例文: 8時から使用する				
	共起データ: 8時	から	使用する	time-from	
time-to	事象の終わる時間				
	例文: 8時まで使用する				
	共起データ: 8時	まで	使用する	time-to	
place	事象の成立する場所				
	例文: 日本で開発する				
	共起データ: 日本	で	開発する	place	
source	事象の主体または対象の最初の位置				
	例文: フロッピから入力する				
	共起データ: フロッピ	から	入力する	source	
goal	事象の主体または対象の最後の位置				
	例文: プリンタに出力する				
	共起データ: プリンタ	に	出力する	goal	
scene	事象の成立する場面				
	例文: このシステムは柔軟性に欠ける				
	共起データ: 柔軟性	に	欠ける	scene	
quantity	物・変化の量				
	例文: ディスクを1GB拡張する				
	共起データ: 1GB	+	拡張する	quantity	
purpose	目的				
	例文: 科学計算のために高速化する				
	共起データ: 科学計算	のために	高速化する	purpose	
cause	原因				
	例文: たった1個のバグのためにダウンした。				
	共起データ: バグ	のために	ダウンする	cause	
basis	比較の基準				

例文: パソコンより速い

共起データ: パソコン より 速い basis

11.7 英語専門用語共起データ（情報処理）

英語専門用語共起データ（情報処理）は、主として、英語の専門用語の間の共起関係を記述している。

===== [英語専門用語共起データ（情報処理）レコードの構造] =====

<レコード番号>	:レコードタイプと識別番号
<名詞性単語>	:(→11.7.1節)
<単語見出し>	:原形語尾つき
<意味情報>	
<概念識別子>	:概念の同一性を示す番号
<概念見出し>	:概念を代表する単語見出し（内容語のみ）
<英語概念見出し>	:概念を代表する英語単語見出し
<日本語概念見出し>	:概念を代表する日本語単語見出し
<概念説明>	:概念の文章による説明
<英語概念説明>	:概念の英語による説明
<日本語概念説明>	:概念の日本語による説明
<表層格>	:(→11.7.3節)
<文字列>	
<動詞性単語>	:(→11.7.2節)
<単語見出し>	:原形語尾つき
<意味情報>	
<概念識別子>	:概念の同一性を示す番号
<概念見出し>	:概念を代表する単語見出し（内容語のみ）
<英語概念見出し>	:概念を代表する英語単語見出し
<日本語概念見出し>	:概念を代表する日本語単語見出し
<概念説明>	:概念の文章による説明
<英語概念説明>	:概念の英語による説明
<日本語概念説明>	:概念の日本語による説明
<深層格>	:(→11.7.4節)
<文字列>	
<管理情報>	
<管理履歴レコード>	:更新日付等の管理情報

===== [英語専門用語共起データ（情報処理）レコードの例(1)] =====

<レコード番号>	
<名詞性単語>	
<単語見出し>	storage
<意味情報>	
<概念識別子>	0da3ff
<概念見出し>	
<英語概念見出し>	storage
<日本語概念見出し>	
<概念説明>	

	<英語概念説明>	
	<日本語概念説明>	
<表層格>		
	<文字列>	01
<動詞性単語>		
	<単語見出し>	s w a p
	<意味情報>	
	<概念識別子>	3c80b0
	<概念見出し>	
	<英語概念見出し>	swap
	<日本語概念見出し>	スワップ
	<概念説明>	
	<英語概念説明>	an act of changing virtual storage
	<日本語概念説明>	仮想記憶領域を交換すること
<深層格>		
	<文字列>	object
<管理情報>		
	<管理履歴レコード>	

===== [英語専門用語共起データ (情報処理) レコードの例(2)] =====

<レコード番号>		
<名詞性単語>		
	<単語見出し>	D B M S
	<意味情報>	
	<概念識別子>	3c8890
	<概念見出し>	
	<英語概念見出し>	database management system
	<日本語概念見出し>	D B M S [D B M S]
	<概念説明>	
	<英語概念説明>	the collection of hardware and software that organizes and provides access to a database named the database management system
	<日本語概念説明>	データベース管理システムという、排他制御、リカバリ機能によってデータを総合管理するシステム
<表層格>		
	<文字列>	in
<動詞性単語>		
	<単語見出し>	s t o r e
	<意味情報>	
	<概念識別子>	2f0fd0
	<概念見出し>	
	<英語概念見出し>	store
	<日本語概念見出し>	
	<概念説明>	
	<英語概念説明>	

〈日本語概念説明〉

〈深層格〉

〈文字列〉

place

〈管理情報〉

〈管理履歴レコード〉

11.7.1 名詞性単語

名詞、代名詞などの名詞性の単語見出しおよび意味情報からなる。

単語見出しが英語専門用語単語辞書（情報処理）に登録されていない場合、意味情報部分はNULLで表す。

11.7.2 動詞性単語

動詞、形容詞、形容動詞などの動詞性単語の単語見出しおよび意味情報からなる。

単語見出しが英語専門用語単語辞書（情報処理）に登録されていない場合、意味情報部分はNULLです。

11.7.3 表層格

英語の5つの文型パターンおよび前置詞に基づき、動詞性単語と名詞性単語の間の表層格関係を記述する。表層格を記述するためには以下の記号を利用する。

記号	意味
S	主語
D	直接目的語
01	直接目的語 1
02	直接目的語 2
I	間接目的語

11.7.4 深層格

11.6.4 を参照する。

11. a 諸表

なし